

新たな出発へ

名東福祉会後援会長
林 輝夫

はじめに

名東福祉会後援会は、社会福祉法人名東福祉会の主旨に賛同して、その事業運営を支援し、もって心身障害者の福祉向上に寄与することを目的として、平成五年七月より発足いたしました。

そして、後援会は結成以来、名東福祉会関係者のもとより、一般の方々にもご協力を得て、多くの方々から会費をいただくことになり、毎年名東福祉会に寄附をさせていただいております。

時代にふさわしい活動へ

ご承知の通り、平成15年4月をもって、長年の間障害者福祉の枠組みとして機能してきました措置制度は、支援費制度へと移行いたしました。

さらに、名東福祉会の「夢」であった知的障害者入所更生施設「レジデンス日進」が今年の11月に竣工することになり、後援会としても、時代にふさわしい活動が求められるようになりました。

そこで、本年度総会で第一に実施しましたことは、会費を一般会費（年間一口六千円以上）だけでなく、賛助会員を新設し、一口三千円以上を頂いて、今まで以上に多くの会員様のご参加を願うことに致しました。

第二に、後援会組織の充実です。

後援会役員の中に、名東福祉会各施設の代表にも入ってもらい、より名東福祉会と密接に活動をするにしました。

会員様には

ご寄附いただいた会員様には、名東福祉会発行の機関誌WORKSをお送りさせていただき、活動をよりご理解してもらえればと思っております。

さらに、レジデンス日進の隣接地には広い公園があり、親子、兄弟の和やかな風景が見られますが、当レジデンス日進やデイサービスの各部屋も一般の方々を利用して頂き様々な活動を展開したり、市民の皆様の拠点にさせていただく等、大勢の人が出入りすることで障害者本人を理解していただきたいと思っております。また、近々学童保

育所も併設しますが、子どもの時から地域の中で共に暮らすことも理想の一つであります。

今後は

後援会としまして、会員様を増やすだけでなく、「入会して良かった」と思われる後援会にしていきたいと思っておりますので、今まで以上にご支援をよろしく願います。

社会福祉法人名東福祉会後援会

事務局 名古屋市名東区勢子坊2-1303
メイトウ・ワークス
電話 (052) 7,02-2863

後援会費郵便払込番号 0880-8-9556
社会福祉法人名東福祉会メイトウ・ワークス
(通常払い込み料金加入者負担)

知的障害者地域生活支援拠点 「レジデンス日進」の竣工間近

社会福祉法人名東福祉会 理事長 加藤久和



三ツ池より眺めたレジデンス日進

名東福祉会待望の入所施設「レジデンス日進」がまもなく竣工します。WOKRS紙上でレジデンス日進を紹介していきたいと思えます。

今なぜ、入所施設なのか

レジデンス日進は支援費時代の幕開けと共にオープンします。人によっては「この地域福祉時代になぜ入所施設が必要なのか」という疑問があるのかもしれませんが。これから必要なのは入所施設ではなく、グループホームなのではないかという疑問です。

確かにこれまでの意味で入所施設の目的をとらえると地域福祉時代に逆行する施設となってしまいます。「真に保護が必要な人が入るところ」とか、「グループホームで生活支援することが困難な人」が入る場所として入所施設の意義をとらえれば、その施設には地域生活への移行や支援の道筋がありません。

入所施設は変わるべきだと思えます。むしろ、私たちは入所施設の地域福祉の拠点としての役割は積極的に残しつつ、施設の機能を「保護」から「地域福祉の支援」に変貌させることが必要であると考えています。入所

施設をなくすのではなく、入所施設の役割を変えていくほうが現時点では利用者にとっても、地域で生活する障害がある人にとっても現実的な選択であるという結論に至りました。

現在、家庭に変わる地域生活の場として最も有望視されているのが知的障害者グループホームです。ただ、現在の知的障害者グループホームは地域生活の場としては職員配置が弱く、このままでは全く不十分な支援システムです。

知的障害者グループホームが高齢者グループホームのように運営改善されたとしても、「地域生活支援の拠点」としては不適切な部分があります。グループホームは個人の住まいですから、レスパイトや生活支援の相談を行ったりボランティアが出入りしたりすることは不向きでしょう。個人の住まいの質を高めれば高めるほど、グループホームは個性が強くなります。

地域生活の支援は5W2H

障害がある人が抱える地域生活上の困難は多様です。地域生活を支援するためには「いつ、どこで、誰、誰、誰、誰、誰」支援できな

施設の沿革

- 1997. 04. 18 家族会を中心に「入所施設を建てる会」が結成
- 2000. 08. 01 市川ひで子様より土地寄贈 (4, 169. 39 m²)
- 2000. 11 US. Maryland州の福祉サービス法人 Melwood 視察
- 2001. 08- 日進市野方地区の人たちとの話し合い
- 2001. 10. 22 第1回レジデンス日進プログラム研究会発足
- 2002. 06 レジデンス日進施設整備国庫補助の内示
- 2002. 04. 01 名古屋市名東区障害者生活支援センター発足
- 2002. 10. 17 国庫補助事業として施設整備工事着工
- 2003. 06. 24 浅井康夫様より土地寄贈 (2, 890 m²)
- 2003. 11. 19 竣工式
- 2003. 12. 01 施設開所

ればなりません。支援費時代は「どんな理由で」であれ」対応することが求められます。「どうやって対応するか How」も多様です。

障害者の多様な問題に対して、(1)緊急避難的な場として機能するとともに、(2)地域ケアのマネジメントセンターとして機能する場が必要だと思えます。問題に対して、いつ、ど

ここで、誰が、何を、なぜ、どうやって、いくらで (How Much) 行うのかというところをアセスメントし、実行する場が必要なのだと思います。

どんなニーズにもフレキシブルに対応できることができるシステムは何か?そこで生まれてきたのが新しい入所施設を「ホテル機能」と「地域の昼間サービス機能」に分離するという考え方をしました。

レジデンス日進で社会資源開発が進む

「ホテル機能」で高品質な支援付きの生活を提供し、「昼間のサービス機能」で充実した社会生活を提供する。「ホテル機能」を利用する人と、「昼間サービス」を受ける人は別の人でも構わない。レジデンス日進の「ホテル機能」を利用しながら、通所施設を利用することも可能にしようという発想です。

もちろん、通所の施設には通所の施設を利用して人がいます。そこで、地域の中に新たなサービスサイトを設置して、名東福祉会の利用者は誰でもそのサイトを利用できるようにしなければなりません。そうでなければ既存の通所施設が定員オーバーとなつ

てサービスの質が低下するからです。

私たちは「ホテル機能」と地域の中に「多様なサービスサイト」を設置することににより、多様なニーズに即座に応えられるようになります。

地域で生活している人のための社会資源のひとつとして、レジデンスの中にも、「障害がある人のための働く場」があってもいいと考えています。例えばレジデンス日進の中にはしやれたレストランがあります。このレストランで働くために障害がある人が「通勤」してきてよいでしょう。

危惧することは通所施設や入所施設という「枠」に運営者側や監督官庁がとられてしまい、障害がある人のニーズから出発した適切なサービスができなくなってしまうことです。入所施設の職員は入所施設利用者の昼間プログラムから夜間プログラムまで全部自分たちでこなさなければならぬと考えると、多様な社会資源は生まれてきません。支援する側も生活のリズムが乱れたいへんでしょう。空間的にも人的配置的にも基準が満たされれば、ケアの担当者の所属自体はそれほど大きな意味はありません。目の前の障害がある人に最適なケアをプログラミングすることが私たちの使命です。

ホテルで高品質な生活

レジデンス日進は全室個室です。どんなときにもすぐに安心して利用していただける快適なホテルをイメージしました。まだ、海外の居室に比べれば半分の広さしかありませんが、12m²は知的障害者の個室としてはなかなかの広さとなりました。(もともと、居室は隣り合う2室を合わせ、すぐに寝室とリビングに改造できるように設計されています。近い将来倍の大きさに改造されるかもしれません。)

外壁は外断熱。居室の壁は珪藻土を厚く重ね、防音性と保温性に優れたやわらかい「桐材」を使用しました。仕上げ塗装には柿渋を用いる念のいれようです。これらにより、エコロジカルな包み込む空間を生み出しています。

各居室は10室ごとにユニットとなり、全体で4つのユニットとなります。各ユニットにはそれぞれバスとキッチン、リビングを配置しています。グループホームの生活をイメージしたユニットとなっています。レスパイトケアに対応するため、4室ショートステイの部屋が用意されています。いつでも地域生活の応援をしていきます。

いと考えています。

お客様は知的障害の方が第一のお客様ですが、地域で就労されている障害者、障害者の家族、ボランティア、地域で障害者を支えてくれる方にも利用していただきたいと思います。

地域生活を送る上で困難を抱えている障害者と、それを応援するすべての人々が私たちのお客様です。

グループホーム支援が使命

これからの入所施設の主な役割は、地域生活をいかに支えるかです。中でも、グループホームを支えることは最も重要な使命となります。

ホテルサービスのスタッフはグループホームの支援が得意です。グループホームの生活を送っている人が共同生活者との相性が悪く、新しいホームを探しているという場合でも一次的にレジデンス日進を利用していただき、新しい人とマッチングを行うこともできます。ホテルサービスとグループホームはサービスの時間帯が一致しているため、グループホームのバックアップも容易です。

支援付き雇用の創出が課題

レジデンス日進のプロジェクトでも難しく、重要な意味を持つのは地域の中に就労支援の場などの社会資源を設置していくことです。

地域のニーズに合わせた特徴のあるサービスを提供するサイト（社会資源）を計画的に配置し、そのサイトの人的な支援を行うことが求められています。レジデンス日進にはこれらのサービスサイトを集中管理していく役割を担います。これはなかなか困難な作業ですが、ぜひ早期に多様なサービスサイトを立ち上げ、地域に展開していきたいと考えています。

モデルはTEACCHのサポータードエンプロイメント

地域生活のケアプランニングでは日中の活動のプランニングが極めて重要です。そこでこれまでの授産施設とは異なるタイプの就労支援が必要となると思っています。

レジデンス日進のサービスサイトのモデルはTEACCHのサポータードエンプロイメント（援助付き雇用）です。援助付き雇用には4つのモデルがあります。

- (1) 一般就労支援モデル
- (2) グループ支援モデル
- (3) 小集団移動モデル
- (4) 1対1モデル

一般就労支援モデルは企業を選択し、オリエンテーション、支援付き実

■社会資源開発の実例

(平成14年度障害者ケアマネジメント従事者養成指導者発表資料より)

公	改善	公営住宅の入居要件を緩和する
公	新規	公営住宅にグループホームを設置する
事	改善	ホームヘルプサービスを24時間体制に
事	新規	医療機関で重度重複障害デイサービスを実施
N	改善	作業所を公園の管理棟で展開
N	新規	精神障害者作業所が移送と販売サービスを
個	改善	ミニデイサービスに自治体単独事業を追加
個	新規	三味線・囲碁ボランティアの依頼

習、自立実習、アフターケアと進むものです。グループ支援モデルは企業内に障害がある人たちのグループをつくり、そのグループに企業内のいろいろな部門が共同で仕事を発注していくものです。企業内授産といたらないでしようか。小集団移動モデルは、5〜6人のグループをつくり、車で移動しながら仕事をするモデルです。家庭内の掃除を行ったり、庭や公園の清掃を請け負う仕事があります。

日本でも最近ではこのモデルに従ったいろいろな実践が行われるようになってきています。特に(2)のグループ支援モデルや(3)の小集団移動モデルが将来性があります。レジデンス日進でも、挑戦していきたいと考えています。

お試しプランで積極的に挑戦

社会資源は利用してみなければ本人のニーズに合った資源かどうか分かりません。これまでの知的障害者の施設福祉では「失敗する権利」が保障されていませんでした。失敗をすることなく長期にわたって施設利用が継続される状況が続いています。これからは社会資源を開発しつつ、「お試し」にトライしていき

いと思います。

表に社会資源の開発例をあげておきます。

地域交流センターをボランティア活動拠点に

これからの地域福祉は支援者のグループも多様になっていくことが予想されます。中でも、ボランティアグループは大きな担い手となることでしょう。レジデンス日進には地域交流センターが設置されます。「地域交流センター」は、地域の人がレジデンス日進に訪れ、利用者と交流を計る目的で整備されたものですが、単に「交流」をするだけでは面白くありません。地域生活の支援時代では、ボランティアの活動の場も地域に広がっていくことが予想されます。

レジデンス日進の地域交流センターは、ボランティアがつどい、ボランティアどうしが情報を交換し、知識と志を高め会う場にしていきたいと考えています。

デイサービスセンター・学童保育所を併設

レジデンス日進には知的障害者のデイサービスを目的とした「ハートフルアクト日進」を併設しています。この施設には身体障害の方のための入浴施設も完備しています。そのため、知的障害者だけではなく、身体障害がある人や高齢者の方にも利用していただけると考えています。

特に、地域の高齢者の方には入浴だけではなく、高齢者ミニデイサービスの場として利用していただきたいと考えています。最初は実験的に始めることとなりますが、将来的には名東福祉会の事業として定款にも記載し、総合的なサービスが可能ないようにしていきたいと思えます。

また、敷地の南端には学童保育所も設置されます。運営は地域の方が担当します。こどもたちと障害がある人が自然な交流ができればと思います。

ゆき

レジデンス日進はこれまでの入所施設とは全く異なるコンセプトの施設です。地域福祉を推進するためのエンジンという考え方で、それだけに多くの人の支援が必要となります。

ここまで来るまで、たいへん多くの

人たちのご協力をいただきました。名東福祉会後援会のみなさんを中心として建設自己資金の積立のため、多額の寄付をしていただきました。建設用地と農耕サイト用の2つの広大な土地を別々の人から寄付していただきました。建設用地のある地域住民との話し合いでは、何回もの話し合いの後、建設の是非をめぐって住民投票となり、その結果「賛成多数」を得るといふ快挙がありました。知的障害者福祉の歴史を振り返っても

たいへん珍しいことです。地域の住民のかたがたには貴重な後押しを頂きました。今、竣工式に向けて多くのボランティアの人たちが心血を注いでくださっています。これも、「知的障害者の人たちの生活を向上させる」という共通の目標の実現に向け、それぞれの得意技を生かした主体的活動です。レジデンス日進はすでに地域に強固な人のネットワークを築き始めています。

レジデンス日進とハートフルアクト日進の概要

所在地 〒470-0124 愛知県日進市上納58-4
TEL (052) 805-1003 FAX (052) 805-1003

土地面積 4,169㎡
建物 建築面積 1,388㎡ 延べ床面積 2,510㎡
農耕サイト 2,890㎡

レジデンス日進

入所更生施設
定員40名
全室個室ユニット式 (10名×4ユニット)

ショートステイ (4名)

職員構成

施設長	事務員	支援員	看護師	嘱託医
1	2	20	1	(1)

ハートフルアクト日進

デイサービス施設
定員15名

自立訓練事業
地域サービス事業各種

今度は私達の出番！

第一月曜日、メイグリーン駐車場にて
フリーマーケットやってるよ！

はまなす 加藤富美子



施設が建設される地域が 建設の後押し！

私達の長年の願いであった入所施設、レジデンス日進の竣工式もいよいよ間近となりました。

レジデンス日進が建設される地である野方地区では、若いお母さん、お父

さんたちが「この地域に学童保育を！」という運動を行っていらっしやいました。その人たちが、レジデンス日進の建設計画を知り、その建設に強い後押しをしてくださいました。レジデンス日進ができたのも、野方地区の若いパワーがあったればこそ！だったのです。

名東福祉会はその縁もあり、

学童保育の建設にご協力することになりました。レジデンス日進の土地は広く、細長い形をしていて、学童保育所を設置することも可能です。

心配を乗り越えて

理事長から各施設の家族会から1名ずつ、学童保育所開発班が任命されました。学童保育のニーズや経営についての調査が仕事です。初めて見る日進市の地図。本当にレジデンス敷地内に学童保育所を造ることが出来るのだろうか？ 学校との位置関係はどうだろうか？ わからないことばかりでした。

日進市の学童保育の現状はもとより制度からわかりません。そもそも助成金はあるのだろうか？ 制度があっても予算は果たしてつくのか？ いろんな問題や疑問が一度に押し寄せました。

まず学区に控えている学童数を把握するため先輩学童である「かにっ子クラブ」を取材しました。そして学童クラブ建設を願っている親さんと顔をつき合わせての話合いが始まりました。

その中で、学童保育所の土地、建物、賃貸契約、運営者など設置の条件が整えば助成が可能との答申が日進市からもらえました。

学区の学童保育建設運動を行っている人たちから「学童保育所の運営も自分たちでやっていきたい」という申し出をいただきました。同一の敷地で地域の人たちとの交流ができ、福祉会としても願ったりかなったたりということになりました。

そうした交流を深めていく中で、学童保育メンバーより社会福祉に役立てると、900坪もの土地の寄付の申し出があり、これで一番気になっていたサービスサイト建設が可能となったのです。私たちとしてはまったく予想していなかったことなのでとても感激しました。この恩に報いるためにも今度は私達の出番です！

いよいよ名東福祉会として、学童建設の募金活動に入りました。正直言って、学童保育所建設の資金協力が多少の懸念はありましたが、多くの人たちから理解を得、目標額の300万円は集めることは出来ました。でもまだまだ500万円という多額の資金を借りなければならず、少しでも借入金を減らそう、学童が建つことを地元の方々にも知って貰おうと、健康茶の販売、フリーマーケットを開くことになりました。

学童メンバーのメイグリーン（チエコ料理店）がお休みの第一月曜日、その駐車場をお借りして、7、8、9月で3回のフリーマーケットを開催しました。

その甲斐あって3ヶ月の寄付金合計は、お茶やゼリー等の売り上げも含め154,704円にも！。メイグリーンのママさんが臨時にフリードリンクの喫茶を開いて下さり（勿論売り上げは建設資金に） 渴いた喉を潤してくれ、元気をもらうこともありました。

一度のぞいてみて！

学童の子供たちとのふれあいを心待ちに、まだまだフリーマーケットは続きます。みなさんも一度のぞいてみて下さい。

今後の予定

（雨の日は、第2月曜日）

2003年12月1日
2004年 2月2日
2004年 3月1日

地域福祉時代にピッタリ WEBグループウェア

WORKS 編集部

「グループウェアとは、コンピュータでスケジュールを管理したり、電子掲示板を使ったりするもの」で、

- (1) スケジュール共有機能
- (2) 掲示板機能
- (3) 文書管理機能
- (4) 電子メール機能
- (5) 施設予約機能
- (6) 電子会議室機能

などがあります。

自分の都合のよいときに自分の意見を伝えることができ、社内の情報が掲示板で伝達されていけば、出張中や外出先からでも、大事な連絡を確認することができます。役員から会議の開催のための調整が非常に楽です。社内通達事項がある

たびに、人、場所の空き時間を自動的に探して簡単に予約ができます。決裁も迅速かつ確実に。大量の処理業務もパソコンを使ってスムーズにこなせます。

特に、地域福祉時代になり、地域の中にサービスサイトが分散する状況になると、各サイトがどんな予定になっているのかを知ることがたいへんになります。そんなときにグループウェアがあれば、大変便利です。インターネットが見ることができればどこでも使うことができます。先日もヨーロッパの施設を視察しているときに名東福祉会の各施設の状況を知ることができるとも便利でした。

グループウェアは数多くの製品が世の中に出ています。その中でも普及しているのはサイボウズという会社が出しているソフトです。WEB形式で表示されるため、操作もわかりやすく導入が簡単です。

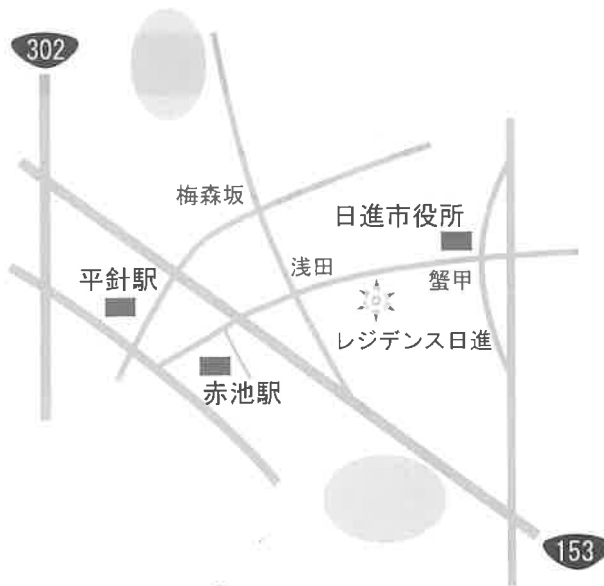
名東福祉会では2003年6月から導入を開始しました。導入では名東福祉会内にサーバーを置かず、レンタルサーバーを利用し、ソフトの導入もサーバーをレンタルしてくれる会社からソフトを借りるという形です。そのため、インターネットやネットワークの

専門的な知識は全く必要がありません。グループウェアを利用するために必要なものはパソコンとインターネット環境だけです。図は名東福祉会の各施設のスケジュールを表示する画面です。それぞれの施設の動きがわかってとても便利です。

現在名東福祉会はこのところ(1) (5)のグループウェアの機能を使っていますが、それでも十分効果があります。

BUSINESS NEWS

2003. 11. 19 レジデンス日進竣工予定
知的障害者総合地域生活支援施設「レジデンス日進」
が竣工します。



後援会ご入金ありがとうございました

熊谷 哲弥	加藤 公英	林 輝夫
酒井 清	瓜生 廣司	青山 杉夫
加藤 康彦	後藤あきの	久野 明美
伊藤 時義	渡辺 秀子	鈴木 敏男
堀 禮二	伊藤 衿子	村山 光子
伊藤 健	篠田 仁雄	牛田 勝子
牧野富佐恵	大内 伸元	浅井 智子
福本 憲恒	片野 久男	鬼頭 愛子
後藤 良昭	竹内 信枝	宮田 明美
平松 光男	小林 廣明	鉦山隆太郎
大須賀浅夫	吉田 行秀	木村 正美
相羽 美久	吉田 幸子	高橋 章
近藤 圭吾	榑開山窯イン	更屋 保子
小寺 清隆	ターセラム	高橋 作平
吉田 俊男	榑ぎふセラシス	高橋富美子
山田 辰己	佐野 靖子	藤井 保郎
石村 博	近藤加津子	鉦山英美江
麦島 厚	福富 ヒデ	桑原 洋子
中島 照夫		

編集室

●プロ野球セリーグの優勝は、ぶっちぎりで阪神が決め、世界陸上では日本人初200メートル短距離の銅メダルと、スポーツ界ではちょっとした異変が起きています。それにしても、今年は近年にない異常気象を体験しました、梅雨から突然残暑といった感じで夏がなく、日照不足のため米の不作が心配され、又ヨーロッパでは熱波が影響して数千人規模の死者が出ているとの報道もあり、各地で異変が相次いでいます。温暖化の影響でしょうか？ 自然を破壊したツケが今、やってきているのでしょうか？ 地球が苦しみ、病んでいるように思えてなりません、一過性であればいいのですが・・・夜中に眼が覚め、秋虫の音色を聞いたとき、確実に秋は来ていると実感し、ほっとしている今日この頃です。(京)

●今回のWORKSは「レジデンス日進特集号」となりました。「地域福祉の推進」という新しい使命を紹介いたしました。この使命を遂行することはとても困難でチャレンジングな作業になります。しかし入所施設のイメージが大きく変わると思います。産みの苦しみですが、健康に気をつけ、地域社会から与えられた任務を果たしましょう。(久)

●社会福祉法人 名東福祉会

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊2-1303

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊2-1303

TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市上納58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町468-1

TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越141-3

TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

●農耕サイト

〒470-0124 愛知県日進市上の山